

平成22年度

総括監督員	主任監督員	監督員

工事番号 12345678

工事名 サンプル工事

舗装工

出来形管理図表

	<u>基準高EL1</u>	<u>深さh2</u>
種	<u>目 基準高EL2</u>	<u>深さh3</u>
	<u>基準高EL3</u>	
	<u>厚さt1</u>	
	<u>厚さt2</u>	
	<u>厚さt3</u>	
	<u>幅B</u>	
	<u>深さh1</u>	

ワイズ建設

現場代理人 ワイズ太郎

注1 . 出来形管理図表は、本表紙様式により、工種ごとに綴るものとする。ただし、小規模工事については、監督職員の承認を得て、全工種を一括綴りとすることができる。

2 . 工種は、盛土(築提工)路床工、路盤工、側溝工、コンクリート法覆工等とし、種目は、厚・幅・基準高、3 m平たん性等と記入する。

サンプル工事

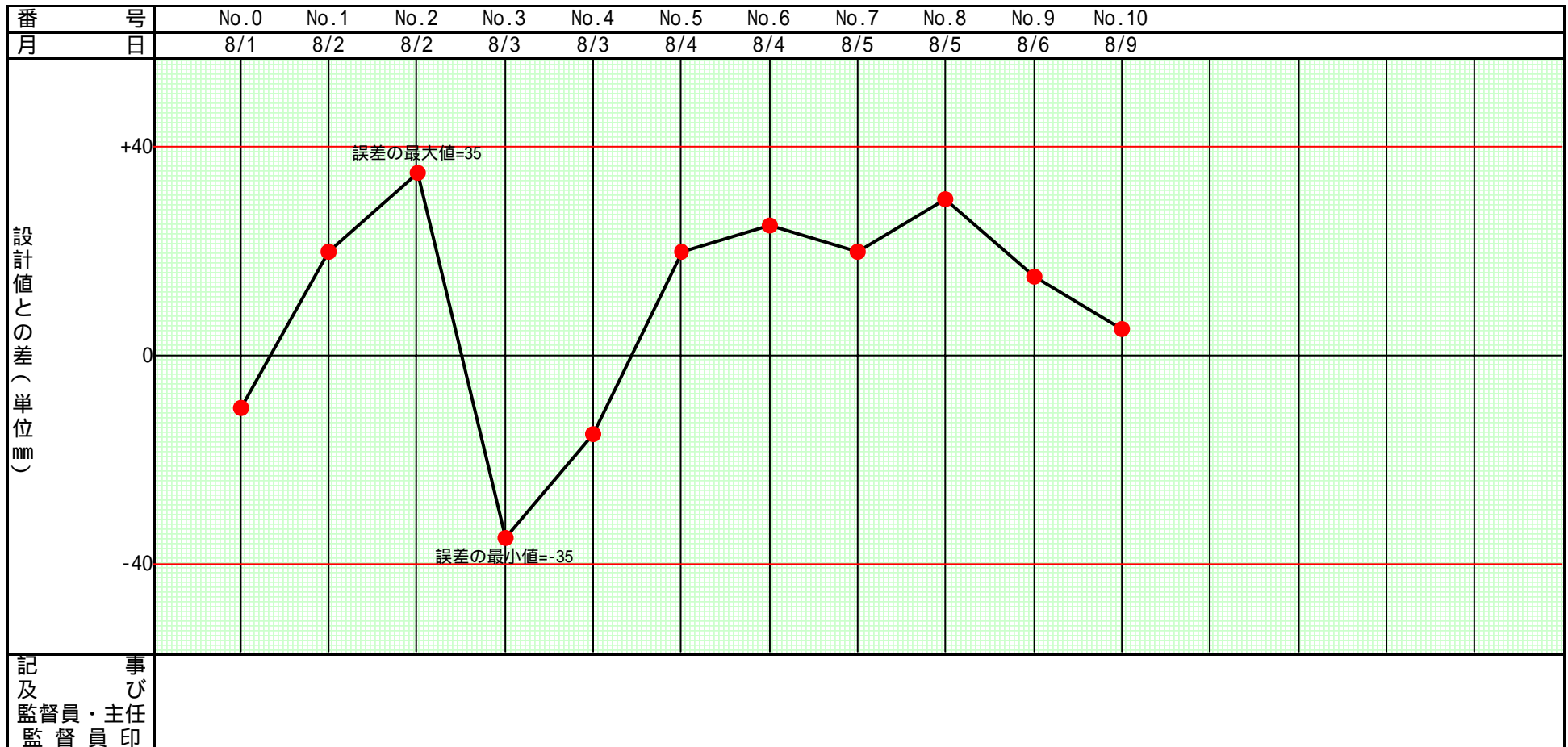
舗装工

基準高EL1

管理図表

-40 ~ +40 (-20 ~ +20) mm

測定者 ワイズ太郎



注1. 工種名は、土工、路盤工、側溝工、法覆工、法留工等と記入する。
 2. 標題は、圧管理図表、標高管理図表、3 m平たん性管理図表等と記入する。
 3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。
 4. 月日は、測定の際、該当測量番号にあたるものを記入する。

5. 設計値と実測値の単位を定め、目盛に記入する。
 6. 図表には規格値の線を朱書で記入する。
 7. 記事は、手直の処置等を記入承諾印を押す。

測 定 結 果 表

請 負 者 ワイズ建設

工種 舗装工

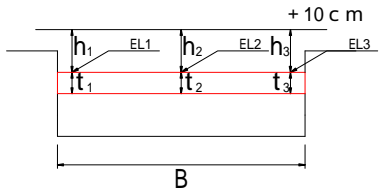
現場代理人 ワイズ太郎

細別 上層路盤

測 定 者 ワイズ太郎

単位 : mm

測 定 項 目	基準高 EL1				基準高 EL2				基準高 EL3				厚さ t1				略 図		
	-40 ~ +40 (-20 ~ +20)								-40 ~ +40 (-20 ~ +20)									-25 ~ (-13 ~)	
測点又は区別	設計値	実測値	差	検査値	設計値	実測値	差	検査値	設計値	実測値	差	検査値	設計値	実測値	差	検査値			
No.0	100.000	99.990	-0.010		100.000	99.990	-0.010		100.000	99.990	-0.010		20	21	1				
No.1	110.000	110.020	0.020		110.000	110.020	0.020		110.000	110.020	0.020		20	22	2				
No.2	120.000	120.035	0.035		120.000	120.035	0.035		120.000	120.035	0.035		20	24	4				
No.3	130.000	129.965	-0.035		130.000	129.965	-0.035		130.000	129.965	-0.035		20	32	12				
No.4	140.000	139.985	-0.015		140.000	139.985	-0.015		140.000	139.985	-0.015		20	23	3				
No.5	150.000	150.020	0.020		150.000	150.020	0.020		150.000	150.020	0.020		20	18	-2				
No.6	160.000	160.025	0.025		160.000	160.025	0.025		160.000	160.025	0.025		20	27	7				
No.7	170.000	170.020	0.020		170.000	170.020	0.020		170.000	170.020	0.020		20	31	11				
No.8	180.000	180.030	0.030		180.000	180.030	0.030		180.000	180.030	0.030		20	26	6				
No.9	190.000	190.015	0.015		190.000	190.015	0.015		190.000	190.015	0.015		20	24	4				
No.10	200.000	200.005	0.005		200.000	200.005	0.005		200.000	200.005	0.005		20	38	18				



注) 基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する。